



Google 検索アプライアンス – データベース クローラ 機能の概要

ビジネスの概要

新機能の Google 検索アプライアンス データベース クローラでは、企業データベース内に保存されている有益な情報にアクセスし、構造化データおよび非構造化データの包括的で一元化された検索を提供することができます。データベース クローラを使用すると、ユーザーはドキュメント管理システムに格納されているデータ、アプリケーション、またはカスタム データベース システムにアクセスできるようになります。これにより、ユーザーは企業のリレーショナル データベースに格納されているすべてのコンテンツを簡単に検索できます。

コンテンツの取得

Google 検索アプライアンス データベース クローラでは、業界標準の SQL を使用してデータベースから取得する情報を定義します。検索管理者は、まず最初にデータベースのホスト名とポート、データベース名、およびアクセス認証(ユーザー名とパスワード)などの接続情報を定義して、データベースへの接続を設定します。次に、データベースから必要なレコードを取得する SQL 文であるクローラ クエリを定義します。

例:

次のフィールドを含む "employee" データベースの場合:
employee_id, first_name, last_name, email, dept

クローラ クエリ:

```
SELECT employee_id, first_name, last_name, email, dept FROM employee
```

これにより、クローラ クエリに一致する全従業員のレコードがデータベースから取得されます。インデックス登録が可能な場合は、データベースから検索アプライアンスにレコードが取り出されます。段階的なクローラ クエリを使用して、管理者はデータベースのデータの挿入、更新、および削除を目的とする SQL 文を定義し、検索可能なコンテンツを最新の状態に保つことができます。管理者はクローラするフィールドを指定して、特定のフィールドをクローラや検索結果から簡単に除外することができます。

レコードのインデックス登録

上記のとおり、クローラ クエリはレコードセットを生成し、結果のデータベースレコードは検索アプライアンスに取り込まれて、インデックスに登録されます。検索アプライアンスでは、各データベース レコードに XSLT スタイルシートを適用して、HTML ドキュメントに変換します。管理者は、各レコードに対して名前と値のペアを含む簡易テーブルを生成するデフォルトのスタイルシートを使用するか、情報を好みのフォーマットに整形するカスタムのスタイルシートをアップロードでき



仕様

対応データベース

IBM DB2
Microsoft SQLServer
MySQL
Oracle
Sybase

Google 検索アプライアンス

ハードウェア: バージョン
4.0 以降
ソフトウェア: バージョン
4.2 以降

お問い合わせ

www.google.co.jp/enterprise

もしくは同ページ [お問い合わせ]
よりお問い合わせください

Google 検索アプライアンス

ます。また、業界標準の XSLT を使用して、特殊検索や制限付きの検索用のメタタグを生成し、データベース レコードを検索ユーザーに最適なフォーマットに整えることができます。

結果の配信

データベースのコンテンツがインデックスに登録されたら、ユーザーが検索を実行できるようになります。Google 検索アプライアンスでは、すべての企業コンテンツが 1 つのインデックスに統合されるので、ユーザーは個別のインターフェースを使用して、企業データベースのデータを検索することはありません。Google 検索アプライアンスのコレクションはいくつでも使用できるため、検索管理者は 1 つのデータセットやすべての企業コンテンツを検索対象とするよう指定できます。

また、ユーザーが Google 検索アプライアンスで検索し、データベースの検索結果を選択したときに、結果をどのように表示するかを設定できます。検索管理者は、検索クエリを設定して、一致する最新のレコードを検索し、定義したスタイルシートをレコードに適用して、ユーザーに表示することができます。

例:

検索クエリ:

```
SELECT employee_id, first_name, last_name, email, dept
FROM employee
WHERE employee_id = ?
```

この例の主キー フィールド: `employee_id`

また、検索 URL フィールドを定義して、データベース レコードの既存のウェブベース バージョンを使用することもできます。検索 URL フィールドを指定すると、表示する URL を含むクローラ クエリで以前に定義したフィールドの値の 1 つが検索アプライアンスで使用されます。たとえば、企業内ディレクトリの各レコードに HTML ページが存在し、同じ形式 (`http://corp.company.com/hr/Joe_Employee.html` など) でリンクが設定されている場合、アプライアンスで検索結果を配信する際にこのリンクが表示されます。

対応データベース

Google 検索アプライアンス データベース クローラは、IBM、DB2、Microsoft SQLServer、MySQL、Oracle、Sybase をサポートしています。Google 検索アプライアンスでは、データベース開発企業により提供されるネイティブ JDBC データベース ドライバを使用します。サポートされるデータベース ドライバとバージョンは次のとおりです。

- MySQL: JDBC バージョン 3.0
- Oracle: Oracle JDBC Driver バージョン - 10.1.0.2.0
- Sybase: jConnect (TM) for JDBC(TM)/5.5(Build 25137)/P/EBF10000/JDK12/Sun Jan 6 21:57:04 2002
- Microsoft SQLServer: JDBC バージョン 2.2
- IBM DB2: JDBC バージョン 8.1